



## 「もうすぐ春。次への準備はいいですか。」

朝の挨拶をしましょう。お早うございます。（おはようございます）

6年生の元気な声で、全員が元気に今週を始めることができましたね。

今日はもう3月。あっという間の三月。一月行く月、2月逃げる月。その通りあっという間に逃げて行って、とうとう三月。一年最後の月です。

今朝は、三月になった途端にいろいろなことに気づきました。

そこで、今日は「もうすぐ春。さて、次への準備はいいですか…。」という話をします。

ここ2、3日、急に朝出かける時間の明るさに驚いています。つい先週くらいまでは、月が出ていて、星も見え、まだまだ暗い朝の道を自転車に乗って、ライトをつけて出かけていました。ところが、今日は、すっかり朝。明るい朝です。私の起きる4時40分頃はさすがにまだ真っ暗です。でも出かける準備をしていると、5時半くらいには東の空が明るくなり、朝焼けのなかに明けていきます。玄関を出て、自転車にかばんを積みさあ、出かける頃には、すっかり明るくなっています。明るいとやっぱり元気の出るものです。

そして、駅に近づくと、これまで見えなかった時計の文字がはっきりと見え、その上にある駅のベランダから毎日、夜明けの瞬間の富士山を取るためにカメラをセットして構えていた駅長さんが、今日あたりは、明るくなったのでもう写真を撮り終わって後片付けをしています。

次に、6時半頃、石神井公園の駅前でバスを待っていると、目の前に大きな銀杏の木があります。そこには、一晩を過ごした雀が、5百羽も6百羽もいて、にぎやかな声が辺りに響いています。そして明るくなってくると10羽、20羽と小さく群れて、どこかに飛んでいきます。つい、先週くらいまでは、まだまだ暗闇が残り、たくさんの雀が騒いでいました。ところが、今日あたりは、もうみんな飛び立ったのでしょうか、1羽もいません。

さて、学校に着くと、いつも警備員さんや用務主事さんと相談をして廊下の天井の暖房と、教室のエアコンをつけるのですが、今日は「さすが3月ですね。あったかいから今日は付けなくていいですね。」

遠くの富士山はまだまだ雪で真っ白なのに、その手前に見える1の4、3の4の教室の前の桜も、4の3、6の3の教室の前の桜もいよいよつぼみが膨らんできました。校庭には、春を知らせる落の臺（ふきのとう）も出てきています。

3月になった途端に、春があちらこちらで顔を出し始めました。自然のなかではこんなに春の用意ができています。

春、4月には皆さんは一つ進級して1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生、4年生は5年生、そして、5年生は6年生。6年生はもう中学生です。

残りわずかになった今の学年。今いる友達も、教室も、4月にはもうあたり前ではありません。私の家の近所の幼稚園年長さんも時々からのランドセルを背負って嬉しそうに見せに来ます。

さてさて、桃五の皆さん。新しい学年、新しい学校生活。皆さん、準備はいいですか……。